

長岡市地球温暖化対策実行計画

区域施策編



平成23年3月

長岡市

ご あ い さ つ

地球温暖化は、私たちの生活を支える様々なエネルギーの消費から生ずる温室効果ガス、とりわけ二酸化炭素の増加が原因と言われています。

この問題の解決のためには、私たち一人ひとりの日々の取組を通じて、社会のあり方を二酸化炭素の排出の少ない低炭素型へ転換していくことが必要となっています。

このたび、市では、地球温暖化対策に向けて行政・市民・事業者が協力し、総合的に取り組むため「長岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定いたしました。

計画の策定にあたりましては、国の目標（2050年までに温室効果ガス排出量を1990年度比80%削減する）を念頭に、地域特性を踏まえながら、2050年の将来像を「低炭素で快適なまち長岡」として描き、2007年度比で約84%の温室効果ガス排出削減を目指します。また、2020年において約26%の排出削減を目指す中期目標も定めています。

これらの数値目標は大変高い値です。困難な面もあろうと思いますが、市は、すべての施策において地球温暖化対策の視点を持って率先して取り組むとともに、市民の皆様や事業者の皆様と力を合わせて、地球温暖化という大きな課題に取り組んでまいります。

悠久の歴史の中で先人から受け継いできた、この良好な環境を、次の世代に残していく責務が現在に生きる我々にはあります。皆様の御理解を得ながら計画を進めてまいりたいと思います。

計画の策定にあたって御尽力をいただいた長岡市地球温暖化対策実行計画協議会委員の皆様をはじめ、地球温暖化対策へのアイデアや意見をいただいた多くの市民の皆様に心より感謝申し上げます。



平成23年3月

長岡市長 森 民 夫

目 次

1 章	計画の基本的事項	1
1	計画の背景と趣旨	2
2	計画の位置付け	4
3	計画の対象と期間	5
2 章	市域の現状	7
1	長岡市の地域特性	8
2	長岡市の温室効果ガス排出量の現状	18
3 章	温室効果ガス排出量の削減目標	25
1	温室効果ガス排出量の将来予測	26
2	温室効果ガス排出の削減目標	27
4 章	低炭素都市長岡の将来像と方向性	29
1	低炭素都市長岡の将来像	30
2	計画の4つの柱と中長期の方向	31
	計画の柱1「地域の資源を活かした新エネルギー、 再生可能エネルギーの利用推進」	32
	計画の柱2「市民・事業者による地球温暖化対策の推進」	38
	計画の柱3「低炭素社会の実現を目指す基盤づくりの推進」	43
	計画の柱4「循環型社会の構築」	48

5 章	短期における具体的な取組.....	51
1	短期の取組について.....	52
2	短期の取組とロードマップ.....	53
	計画の柱 1「地域の資源を活かした新エネルギー、 再生可能エネルギーの利用推進」.....	53
	計画の柱 2「市民・事業者による地球温暖化対策の推進」.....	59
	計画の柱 3「低炭素社会の実現を目指す基盤づくりの推進」.....	66
	計画の柱 4「循環型社会の構築」.....	73
3	生活やオフィスにおける取組.....	77
4	長岡市役所の取組.....	83
6 章	計画の推進.....	85
1	推進体制.....	86
2	進捗管理.....	87
	参考資料.....	89
1	策定の経過と体制.....	90
2	市民・事業者への意識調査.....	93
3	温室効果ガス排出量の推計方法.....	97
4	地球温暖化防止のアイデアの募集.....	101
5	地球温暖化対策シンポジウムの開催.....	102